

6 網地島

ドミキ崎(ドワメキ崎)・網地白浜海水浴場などの観光スポットがあり、海が見える民宿や、豪華な魚料理に出会える民宿など、都会のホテルや旅館とはひと味違った、のんびりとした島滞在を満喫できる。

東日本大震災では震度6弱を観測し、大津波により大きな被害を受けた。沿岸部で全壊・半壊が数件、基幹産業である水産業の関連施設も壊滅的な被害を受けた。

石巻からの航路は、平成23年(2011)3月24日に1日1便(1往復)での限定的な運航を再開。平成24(2012)年1月20日に通常ダイヤへ復旧した。

網地白浜海水浴場は、平成25年(2013)から再開した。





7 おしか御番所公園・おしか家族旅行村オートキャンプ場

おしか御番所公園は、江戸時代に仙台藩が「唐船」の襲来に備えて見張り所を設置していたほど、眺めの良い公園である。高い位置には「展望棟」があり、牡鹿半島の全景、金華山など、360度の一大パノラマの眺望が楽しめる。

おしか家族旅行村オートキャンプ場は、やはり、地震で被害を受け、限定で利用が再開されていた。両施設とも復旧工事が行われ、平成26年2014年4月に利用が再開された。





8 日和山

太平洋を見渡すことのできる日和山は、元日には初日の出を見るために人々が訪れ、春には多くの花見客が訪れる桜の名所として親しまれている。

東日本大震災では多くの市民が日和山に避難し、ここから撮影された津波の襲来や門脇小学校の津波火災の様子は全国的にも大きな衝撃を与えた。被害の大きかった南浜町方面を一望できることもあり、震災以後は市外からも多くの人が復興の様子を見るために訪れたり、政府関係者などが視察のために訪れたりすることも多い。

平成28年(2016)から花見シーズンのライトアップが復活した。





▲日和山からの日の出



▲再開された花見シーズンのライトアップ

44. さまざまな復興支援イベント

震災で大きな被害を受けた石巻では、多くの復興イベントが行われた。

有名芸能人、スポーツ選手など、世界中から多くの人を訪れ、さまざまなイベントを通して市民を勇気づけ、復興への力を与えてくれた。ここに明記し感謝の意を表します。

いくつかのイベントを写真で振り返ってみたい。

ベガルタ仙台レディース復興支援マッチ

平成 27 年 (2015)7月4日浦和レッドダイヤモンズとの復興支援試合。

ベガルタ仙台は、石巻市と復興支援連携協定を締結し、以後、継続的な支援を行うこととなった。



ポケストップ追加企画「Explore Miyagi」

平成28年(2016)、スマートフォン向けゲームアプリ「Pokémon GO」が世界中で大流行。それを受けて、アプリ開発会社による被災地支援として、レアポケモン「ラプラス」の出現率が石巻を含む沿岸被災地で一定期間大幅に高く設定されたことから、期間中にはレアポケモンを目当てに約10万人にもものぼる観光客が石巻市を訪れた。

同年9月12日、13日には、「Pokémon GO」と連携した観光振興イベント「Explore Miyagi」が開催された。



▲内海橋



▲ラプラスを求めて集まる人々



▲Explore Miyagi でバスに乗り込む人々

Reborn-Art Festival × ap bank fes2016

Reborn-Art-Festival 2017(一般社団法人APバンク主催)のプレイベントが平成28年(2016)7月29日から31日の3日間、開かれた。



▲ステージイベント



▲飲食ブースに並ぶ人々

ツール・ド・東北

東日本大震災の復興支援と震災の記憶を未来に残すことを目的に平成25年(2013)にスタートし、以後、毎年行われている。



▲2016年 スタート地点



▲2016年 おしか御番所公園付近